

授業科目 基礎看護技術演習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
川崎 久子、石塚 敏子 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【一般目標：GI0】 対象者の治療過程を支援する看護師の役割を理解し、診療に伴う基本的な看護技術を習得する。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 治療過程を支援する看護師の役割を説明する。 感染予防における看護技術の原則を説明する。 創傷管理の基礎的知識と看護技術の適用を説明する。 排尿障害の基礎的知識と看護技術の原則を説明する。 導尿モデルを用いて一時的導尿を実施する。 薬物療法の基礎的知識と薬物療法に必要な看護技術の原則を説明する。 注射モデルを用いて筋肉内注射を実施する。 注射モデルを用いて点滴静脈内注射を実施する。 検査における援助の原則を説明する。 採血モデルを用いて静脈血採血を実施する。 呼吸管理の基礎的知識と看護技術の適用を説明する。 酸素ポンプを用いて酸素吸入を実施する。 吸引モデルに対して気道内吸引を実施する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	科目ガイダンス、感染予防と創傷管理の看護技術			1	講義
2	無菌操作、創傷処置			1・2・3	演習
3	排尿障害の看護技術			1・2・3・4	講義
4	導尿の看護技術			1・2・4・5	演習
5-7	薬物療法における看護技術			1・2・6	講義
8	筋肉内注射の看護技術			1・2・6・7	演習
9	点滴静脈内注射の看護技術			1・2・6・8	演習
10	検査における看護技術			1・2・9	講義
11	静脈血採血の看護技術			1・2・9・10	演習
12-13	呼吸管理の看護技術			1・2・11	講義
14-15	酸素療法と気道内吸引の看護技術			1・2・11・12・13	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II	藤崎郁編集	医学書院	2013・2,900円＋税
参考書		新体系 看護学全書 専門分野 基礎看護学 基礎看護技術 1	編集 / 深井 喜代子	メヂカルフレンド	2012・3,255円
		決定版 ビジュアル臨床看護技術	坂本すが監修	照林社	2011・4,095円＋税
		写真でわかる臨床看護技術 1	本庄 恵子、吉田 みつ子	インターメディカ	2012・2,835円＋税
		写真でわかる臨床看護技術 2	本庄 恵子、吉田 みつ子	インターメディカ	2012・3,150円
その他の資料					
【評価方法】 演習内容に基づいた課題：30% 学科試験：70%			【履修上の留意点】 ・「人体の構造と機能」を復習を行ってから参加のこと。 ・演習に際しては、ユニフォームを着用し、病院実習に準じた態度で臨むこと。		